



平成 19 年 5 月 8 日

各 位

熊本県熊本市南熊本三丁目 1 4 番 3 号
株式会社トランスジェニック
代表取締役社長 是石 匡宏
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取締役事業推進本部長 佐藤道太
電話番号 078-306-0590

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 15 日に公表しました、平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）連結及び単体の業績予想につき、下記のとおり速報値を公表いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期連結の業績予想数値（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	420 ～ 550	△ 640 ～ △ 750	△ 680 ～ △ 790
今回発表予想(B)	430	△ 690	△ 670
増減額 (A - B)	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—
前期(平成 18 年 3 月期)実績	—	—	—

2. 平成 19 年 3 月期単体の業績予想数値（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	370 ～ 500	△ 640 ～ △ 750	△ 680 ～ △ 790
今回発表予想(B)	390	△ 650	△ 770
増減額 (A - B)	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—
前期(平成 18 年 3 月期)実績	470	△ 928	△ 964

3. 業績の概況

当期は、売上高につきまして、連結、単体とも当初計画の範囲内にて推移いたしました。

経常利益につきましても、売上高が当初計画の範囲内にて推移したことに加え、全社にわたるコストコントロールに当初計画以上に努めたことや収益構造の変化により、連結、単体ともに当初計画の範囲内に収めることができる見通しとなりました。

当期純利益につきましては、単体において当社の保有する株式につき、最近の財務状況及び今後の事業環境を勘案し評価減の適用（評価損 134 百万円）をいたしますが、連結、単体ともに当初計画の範囲内に収めることができる見通しとなりました。なお、当該評価減の適用は連結上は影響ありません。

また、単体につきましては前期比較にて赤字額を減少させることができました。

以上

※上記の予想は、本資料発行日現在において入手可能な情報に基づく予想であり、不確定要素を含んだものです。実際の業績は様々な要素により、大きく異なる結果となる可能性があります。